

展示用ツール(立体版)の作り方



1

立体バージョンと、平面バージョンをそれぞれ印刷する。立体バージョンは背景用、平面バージョンは切り抜き用として使用。印刷する紙は、やや厚めの張りのある紙を使う(普通紙を使用の場合は、このときラミネート加工しておく)。



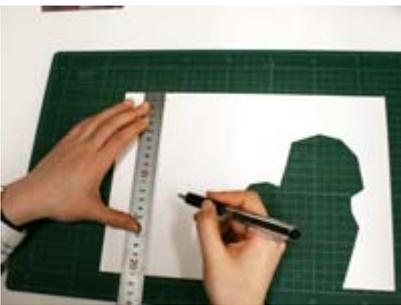
2

切り抜き用の平面バージョンのシートを、点線に従ってはさみで切り抜く。



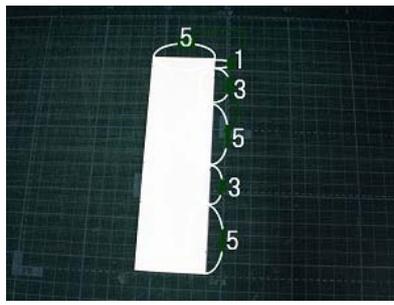
3

切り抜いたところ。



4

切り抜いて余った部分を適宜利用して台の部分を作る。



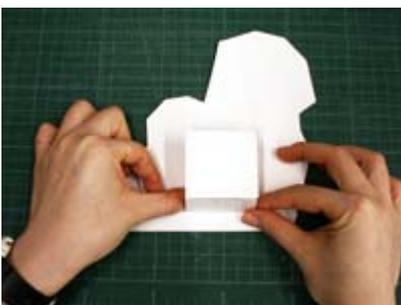
5

台は好みの大きさでよいが、ここでは、写真のように横幅5cm、縦は1cm(のりしろ)、3cm、5cm、3cm、5cmのところに印をつけている。細かなパーツの台を作るときは、縦横5cmの箇所を小さくして調整する。



6

印の箇所で山折にして、のりしろ1cmを重ね、四角に組み立てる。



7

3の切り抜いたものに5を貼りつける。5×5cmの広い面が接するように置き、四隅を貼ると安定する。



8

背景用の立体バージョンのシートに貼る。この時も、台の四隅を貼ると安定する。ほかのシートも同様に仕上げる。



9

でき上がったら、シートを壁やボードに貼ったり、シートの隅にパンチで穴を開け、シート同士をリングなどでつなげて上から吊したりして展示する。